

4. 生涯教育制度について

平成 26 年 4 月より生涯学習から生涯教育に移行しています

1. 基本的な考え方

管理栄養士・栄養士は科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められます。

そこで、生涯学習（CE:continuing education）から、キャリアを支援できる生涯職能開発（CPD:continuous professional development）の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行しました。目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、管理栄養士・栄養士として国民のために役立つ能力を身に付けることです。

生涯教育では、自身の評価を行い、到達目標を決定して研修計画（Plan）を各自で作成し、実践（Do）、評価（Check）、改善・見直し（Act）を繰り返すことにより、スキルの向上を目指します。この PDCA サイクルで研鑽を積み、「知識・技術・倫理の面で信頼できる専門職」であるとの社会的評価を得ることが重要となります。

【PDCAサイクル】



2. 生涯教育制度のポイント

①生涯職能開発（CPD）

各職域の初任者、中堅の実務者、管理者の到達目標（コンピテンシー）を明確にして、専門知識の継続的な自己研鑽を目指す生涯職能開発（CPD）への移行を図ります。

②自己研鑽

自己研鑽は、OJT（on the job training）を重視し、PDCA サイクルで実践します。

③生涯教育の構成

生涯教育は、「栄養の指導」の専門職として各分野で必須とされるスキルを修得する基幹教育と、専門とする分野ごとにさらにその専門性を高める拡充教育があります。

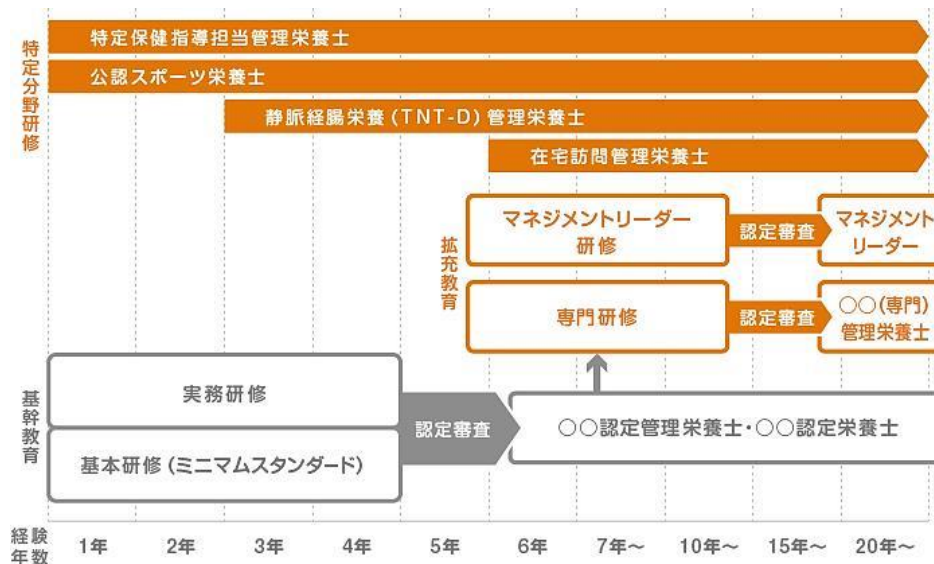
基幹教育は、専門知識・技術の修得と実践力を付け、さまざまな状況の対象者一人ひとりに応じた適切な「栄養の指導」ができることを目指し、基本研修と実務研修に分けました。

基本研修では、管理栄養士・栄養士としてのミニマムスタンダード（標準的事項）を身に付けます。実務研修では、専門とする分野に特化される知識と技術を習得します。

拡充教育は、専門領域の特定の分野におけるさらに高度で詳細な専門知識・技術、学術（教育・研究スキル）を向上させるものとして位置づけています。特定分野の研修とマネジメン
トリーダー研修、専門研修に分け、設置準備中です。

実務研修は、専門分野に特化した知識・技術の研修です。研修は分野を越えて自由に選択で
きます。

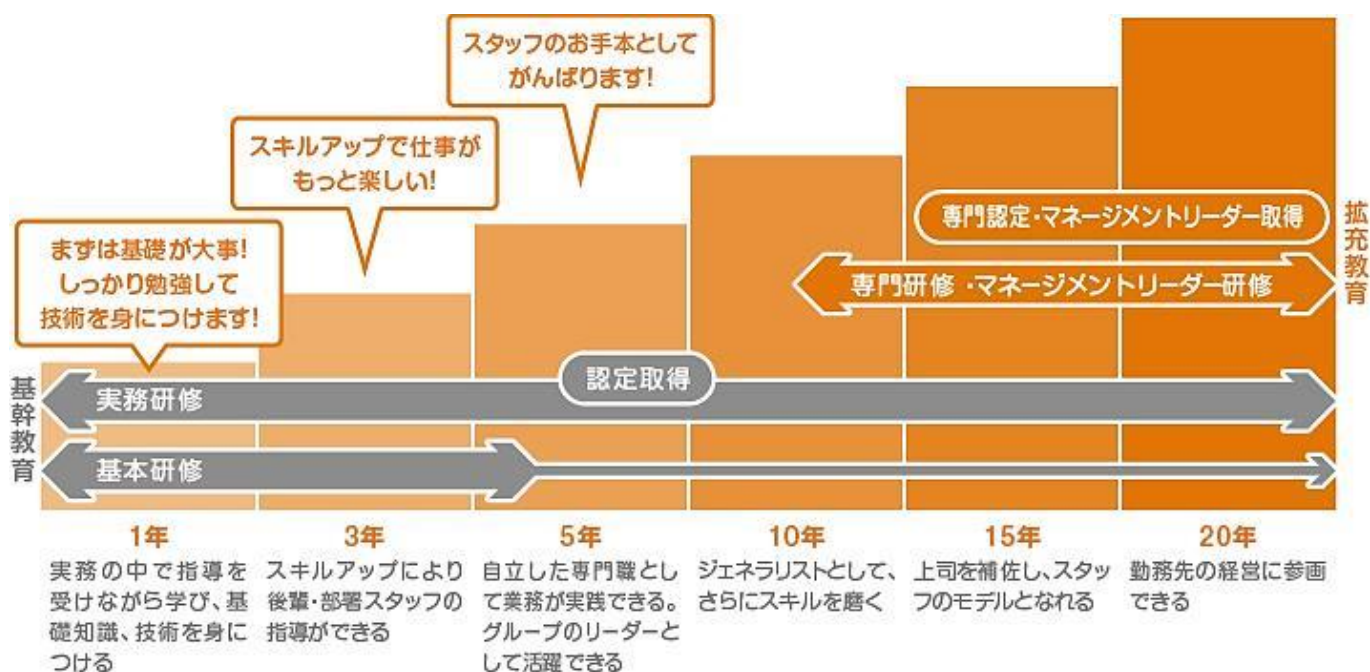
【生涯教育のイメージ】



④認定制度

生涯教育の単位制度を基本に、キャリアを支援するためスキルの到達度に応じた認定制度
を設けました。認定には期間を設け、スキルの向上と質の担保を図ります。

【キャリアプラン】



○生涯教育を受けてジェネラリストを目指そう!

まずは、研修会に申し込みましょう。生涯教育の詳細については、ホームページをご覧ください。ご不明な点は、栄養士会事務局までお問い合わせください。